

鑑賞と表現の関連性を重視した 効果的な音楽的能力の育成

山梨県
上野原市立秋山小学校

教諭 和智 宏樹

1

研究主題設定の理由

- 児童は音楽から聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを捉え、音楽を表現したり味わったりすることで音楽の力を育む。
→〔共通事項〕を学習の要とし、鑑賞と表現の学習を関連させて学習することで、効果的に学習することができる。
- 〔共通事項〕をより意識したり実感したりできるような指導を工夫することで、児童は必要感をもって学習活動に取り組むことができる。

2

研究の目的

- 〔共通事項〕を学習の要とし、「音楽的な見方・考え方」を働かせた授業の在り方を探る。
- 「主体的・対話的で深い学び」を授業改善の視点として、それぞれの領域で学習したことを互いに活用しながら音楽的な能力を育成できるような授業改善を目指す。

3

具体的な研究内容

- 題材のねらいを達成するための適切な教材設定
- 指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫
- 児童が生き生きと学習できる授業の工夫
- 豊かな学びのための対話と協働
を意識した授業展開の工夫

4

具体的な研究内容

- 題材のねらいを達成するための適切な教材設定
 - 指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫
 - 児童が生き生きと学習できる授業の工夫
 - 豊かな学びのための対話と協働
- を意識した授業展開の工夫

ICT活用

知覚・感受

5

今年度の研究①

- 題材のねらいを達成するための適切な教材設定
「要素の焦点化」「鑑賞と音楽づくりの関連」

鑑賞

- ・我が国や郷土の音楽に使われている音階

都節音階
沖縄音階
民謡音階

音楽づくり

- ・我が国や郷土の音楽に使われている音階
- ・旋律の音の動き

鑑賞

- ・我が国や郷土の音楽に使われている音階
- ・旋律

第1時の曲
+ 各音階1曲追加

6

今年度の研究①

- 題材のねらいを達成するための適切な教材設定

音楽づくり
(ア)
即興的に
試行錯誤
繰り返し

音楽づくり

- ・我が国や郷土の音楽に使われている音階
- ・旋律の音の動き

・縦書きの
記譜
・箏

7

今年度の研究①

- 題材のねらいを達成するための適切な教材設定

都留の機織唄
三味線本調子
調はア2
楽譜は1オクターブ下

唄の歌は知らず
唄のお節師が
あればよい

唄はよけれど お話はおよし
あやしの 態度になる
三日月に 隠れる様に
唄はよけれど お話はおよし
あやしの 態度になる
三日月に 隠れる様に
唄はよけれど お話はおよし
あやしの 態度になる
三日月に 隠れる様に

鑑賞

- ・我が国や郷土の音楽に使われている音階
- ・旋律

第1時の曲
+ 各音階1曲追加

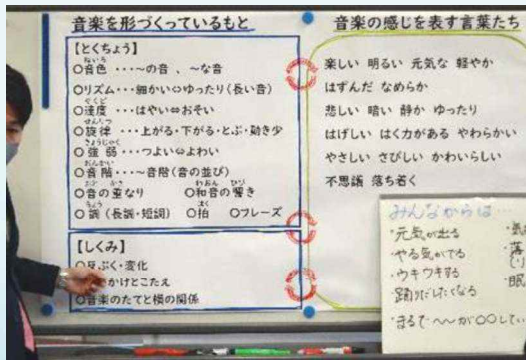
郷土の音楽(都留機織唄)

8

今年度の研究②-1

○指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫

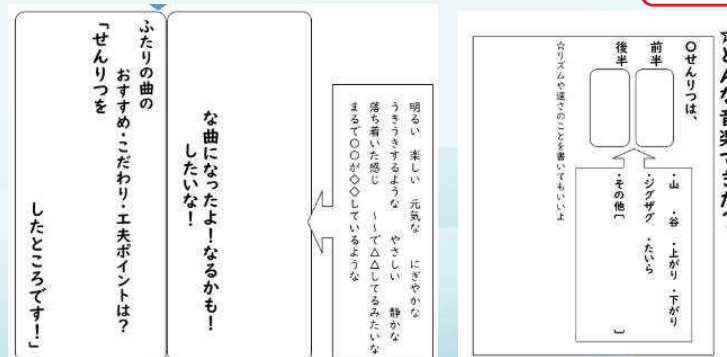
- ・ 知覚と感受の関わりを意識 **掲示**



今年度の研究②-1

○指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫

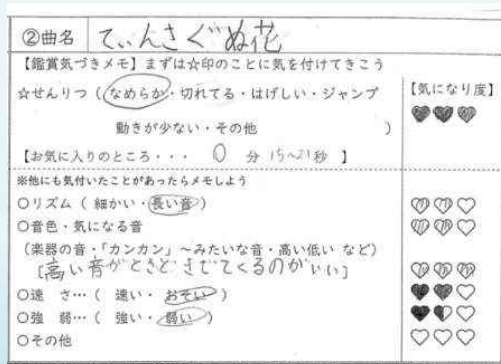
- ・ 知覚と感受の関わりを意識 **ワークシート**



今年度の研究②-1

○指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫

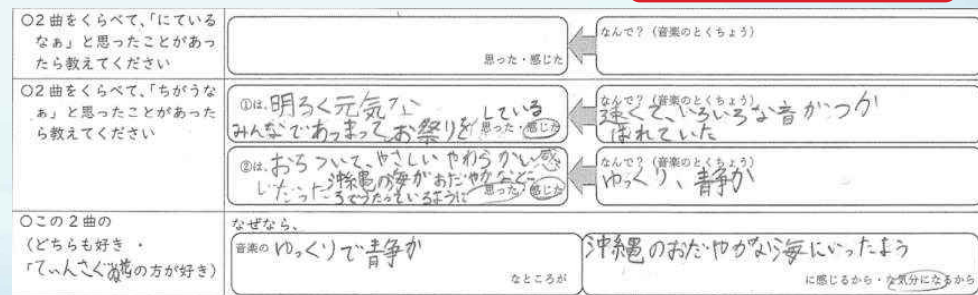
- ・ 知覚と感受の関わりを意識 **ワークシート**



今年度の研究②-1

○指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫

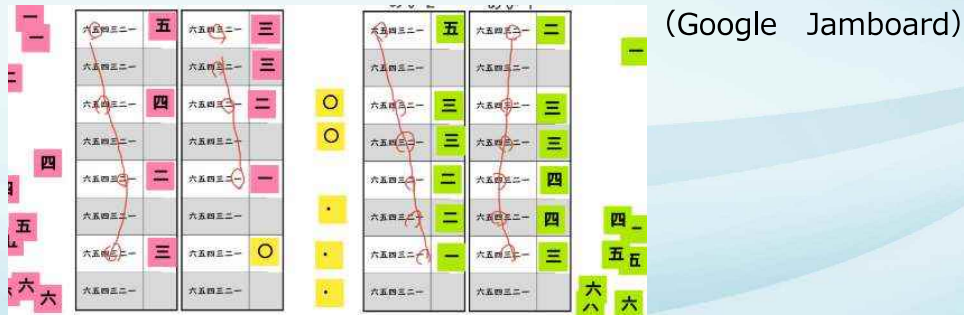
- ・ 知覚と感受の関わりを意識 **ワークシート**



今年度の研究②-2

○指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫

音楽づくり：ICT…思考の過程の見取り



13

今年度の研究③-1

○児童が生き生きと学習できる授業の工夫

常時活動 **旋律づくり** **音階**

- ・基礎基本
 - ・学習への見通し
 - ・自らの課題設定
 - ・協働
 - ・多様性の尊重
- (遊びを通して楽しみながら)

14

今年度の研究③-1

○児童が生き生きと学習できる授業の工夫

常時活動



15

今年度の研究③-2

○児童が生き生きと学習できる授業の工夫

1人1台端末を使った鑑賞

- ・自分の関心に合わせて
 - ・自分のタイミングで
(個別最適な学び)
- △今後さらに発展させたい



16

今年度の研究④-1

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開の工夫

鑑賞：実感を伴う知識 第2時以降の学びへつながる

感性を働かせながら音階の特徴に気付く



今年度の研究④-2

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開の工夫

第2時：一人で試行錯誤
⇒共有（旋律の形）⇒再考

第3時：2人でつなげる（違和感・ズレ）
⇒共有 ⇒ 再考



今年度の研究④-2

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開の工夫

第2時：一人で試行錯誤
⇒共有（旋律の形）⇒再考

第3時：2人でつなげる（違和感・ズレ）
⇒共有 ⇒ 再考

明るいけど優しい感じ
ポイント：旋律をなめらかに



今年度の研究④-2

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開の工夫

第2時：一人で試行錯誤
⇒共有（旋律の形）⇒再考

第3時：2人でつなげる（違和感・ズレ）
⇒共有 ⇒ 再考

「都節ぼさ」を引き出したかった
ポイント：いろいろな（旋律の）形を使った



今年度の研究④-2

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開の工夫

第2時：一人で試行錯誤
⇒共有（旋律の形）⇒再考

第3時：2人でつなげる（違和感・ズレ）
⇒共有 ⇒ 再考

落ち着いた感じからに
ぎやかにした

ポイント：二人の旋
律を交互に置いた



今年度の研究④-2

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開の工夫

第2時：一人で試行錯誤
⇒共有（旋律の形）⇒再考

第3時：2人でつなげる（違和感・ズレ）
⇒二人の音楽をつくる
⇒共有⇒再考

何度も繰り返し試す

友だちとの違いを調整
新たなアイデアの発見

音楽づくりの発想を得る



「旋律の音の動き（形）」は
思考のよりどころとなっていたか…

成果

○表現と鑑賞を関連させ、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- ・〔共通事項〕を要とした資質・能力の育成
- ・学びを支える教師の役割
- ・音楽科における言語活動と協働の在り方
- ・我が国や郷土の音楽を題材とした学習
- ・ICTの活用

今後の課題

- ◇他の表現分野と関連させた実践の継続
- ◇より児童の実態に寄り添い、豊かな学びの実現のための手立ての模索
 - ・指導と評価の一体化
 - ・音楽的な見方・考え方
 - ・ICTの活用と個別最適な学び